

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
14052	芸術と心の臨床	2 単位 前期	1~4	講義	松田 盛雄 (客)

■**テーマ** 心理学的手法を用いて自己理解を深め、表現芸術と精神の関係を考える。

■授業概要

自分とは何か、自分の性格はどのように形成されたか、アイデンティティーの確立とは何か、などについて自分の内面と向き合う作業を通して自己理解を深め、それが表現者としての修行や活動とどのように結びついているかを講義全体を通じて理解を進めていく。また、自分自身に対する「気づき」が、自身のストレス解消や対人関係の改善に具体的に役立てられるよう、担当教員の実務経験を活かしながら授業を構成する。

■到達目標

- ・自己理解を深めつつ他者理解を促し、他者との関係作りに活用できるようにする。
- ・自分の生き方と芸術活動との関係性について客観的視点を持てるようにする。
- ・心の病及びその予防法や治療法について学び、大学生生活への適応促進に役立てる。

■授業計画・方法

1. 自分を知ること・表現すること:メンタルヘルスとは何か
2. 自分とは何か:認識論から読む自分の心と性格
3. 自分を知る(1):交流分析(東大式エゴグラム)による自分の性格分析
4. 自分を知る(2):描画法(バウムテスト)による自分の性格分析
5. 家族の心理学(1):親子の関係
6. 家族の心理学(2):不適応の問題
7. アサーティブな対人関係:適切な自己主張や自己表現とはどのようなものか
8. アサーション・トレーニングの実際:アサーティブな会話の練習
9. 心の健康とストレス:ストレスを引き起こすものを知る
10. ストレス反応とストレス・マネジメント
11. 発達障害について:発達障害のタイプとその特性
12. 深層心理の世界:夢の分析を通して自分の無意識を考える
13. 心の病気と治療の心理学(1):いろいろな精神障害と症状
14. 心の病気と治療の心理学(2):現代に特徴的な心の病と治療
15. 授業のまとめ:大学生生活への適応と学生相談の活用について

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

- ・心理学の基礎的説明は省略するので、一般教養科目の「心理学」を既に履修していることが望ましいが、予習読書課題を読みこなせる程度の知識があれば履修は可とする。
- ・講義用レジュメや参考資料を多く配布するのでファイルにして活用すること。
- ・課題レポートを科すので、指示に従って作成し締め切り日までに提出すること。

■成績評価の方法・基準

□**方法** 評価は、平常点 (20%) とレポート課題 2 点: 自己分析 (40%)、事例を読んだ感想課題 (40%) などを総合的に判断して行う。平常点は授業への参加状況で判断する。レポートはコンピュータを使用して作成し提出する。期末試験は実施しない。

□**基準** 「到達目標」を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献 (資料) 等

□教科書

指定しない。講義レジュメはその都度配布する。

□参考文献 (資料)

- 『対人関係を通しての自己理解ワークブック』 遠藤健治編著 培風館 2013 年
『大学生活をゆたかにする心理学』 心理科学研究会編著 福村出版 2013 年
『ワークショップ 大学生生活の心理学』 藤本忠明編著 ナカニシヤ出版 2014 年